

白井市学校給食センター運営委員会
委員各位

白井市教育委員会
教育長 井上 功

令和3年度第1回白井市学校給食センター運営委員会
(書面協議)の報告について

日頃から、学校給食の運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
さて、令和3年度第1回学校給食センター運営委員会(書面協議)の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 会議の出席者について
委員数 14名
提出数 14名

※「白井市学校給食センター管理規則」第3条の規定に基づき、過半数の書面協議書の提出がありましたので、書面による会議は成立しました。

- 2 協議事項

令和4年度学校給食センターの事業計画(案)について

- ① 学校給食の概要について
承認します 14名

【結果】

上記の議題について、全会一致で承認されましたのでご報告いたします。

- ② 食物アレルギー対応食の今後について

現在のアレルギー除去食(卵・乳の除去)をこのまま継続すること及び現在の除去食のほかにソバと落花生の2品を加えることについて

【結果】

貴重なご意見ありがとうございました。

いただいたご意見をもとに改めて検討した結果、今年度12名のお子さんに食物アレルギー対応食(卵・乳の除去)を提供しているなか、現在のところ、来年度入学する小学1年生で4名の希望者がおります。この状況から、次年度は数名の食物アレルギー対応数の増加が予想されます。

運営委員からもご意見いただきましたように、現在のコロナ禍で、調理員等が自宅療養や健康観察のため出勤停止になった場合、施設の人員等の能力に余裕を持った管理体制がとれないため、コロナ終息までの期間は見送りすることとし、今後の食物アレルギー対応食の希望者の傾向等を把握しながら、そばと落花生の除去を加えることについて判断していきたいと考えます。

- 3 その他

上記の協議事項2-②及び3その他について、委員からいただいたご意見等は別紙のとおりとなります。

《協議事項》

②食物アレルギー対応食の今後について

現在の食物アレルギー除去食（卵・乳の除去）をこのまま継続すること及び現在の除去食のほかに「ソバ」と「落花生」の2品を加えることについて

【意見①】

これまでアレルギー除去食の提供の際、問題がなかったのであれば卵・乳については継続でよいと思います。

ソバ、落花生については調理室が完全に仕切られているか作業員が専任で着けるのか、作業中ほかのエリアとの行き来がないのかなど徹底した管理体制が必要となります。

空気中に舞ったわずかなアレルゲンがアナフィラキシー等の重篤な症状を起こすことが考えられるからです。

コロナ禍の作業員の出勤停止等による欠員が想定される今、新たな除去食に踏み切ることは正直不安であります。

コロナ終息まで見送るという選択もあってよいのではないのでしょうか？

現在医療が逼迫しており、救急車を呼んでもすぐに来てくれるかわからない且つかかりつけ医であっても症状によっては見てもらえないと聞きます。

今が平常時でないことを踏まえて慎重な判断を。

【意見②】

承認します。

【意見③】

落花生（ピーナッツ）に関して、たしか昨年春に2件ほど当院に相談があって献立を見ながらの除去にという対応をした際、どの献立にピーナッツが入っているか、

献立だけでははっきりしないので、給食センターをご案内した記憶がございます。

（多分、私が直接センターに問合せしたら「どの献立にピーナッツが入っているかお伝えできます。」と言ってくださったので、私から給食センターを患者様の母親にご案内したかと思います。）

私個人的には、ピーナッツが除去対応に加わるのはとても助かります。

【意見④】

承認します。

【意見⑤】

食物アレルギーが1割ほどいるなか、スタッフのご苦勞を察します。

卵・乳・小麦・そば・ナッツ等対応の多い食材は無論ですが、対象の少ないイカ、牛肉、魚などトラブルのないよう細心の注意が必要と考えます。すべてに学校給食が対応できるのか気になります。

今後もエピペンを使用することのないよう注意をお願いする次第です。

【意見⑥】

いつも子どもたちのためにおいしい給食をありがとうございます。

給食センターの方々には、お手数をおかけしますが、一人でも多くの子が給食を食べられるよう、どうぞよろしくお願ひします。

【意見⑦】

アレルギー除去食はこのまま継続してほしいと思います。

ソバと落花生の除去食については、経緯と理由から対応食に余裕があり除去しやすいのであれば除去食に加えてほしいと思います。

【意見⑧】

現在の除去食（卵・乳の除去）をこのまま継続することは賛成です。

ソバと落花生の除去は、少量でも重篤になることが心配ですが、除去しやすいとすることがありますので、できるかと思っています。

落花生のアレルギーが36人なので現在対応の12人を加えると50人程度となる場合があります、少しでも負担があると感じる場合には、やめたほうがいいと思います。

【意見⑨】

今後の対応として、さらに2品加えていただくことに賛成します。

前任校で、落花生のアレルギーに対して非常に苦労した経験があります。

少々の摂取でも重篤になる危険性も実感しています。

ご提案された対応に賛成します。

【意見⑩】

アレルギーは、命に関わることなので学校安全の観点からも除去食にソバと落花生を加えることに賛成です。（卵・乳の除去は継続）

※桜台小中学校では、同様のことをすることは難しいと思います。

これは、あくまで給食センターのことなので、桜台小中学校は別ということはもちろんわかりますが。

センターができるなら、桜台でもという声はあるかもしれませんが。できる範囲で対応したいとは思います。

【意見⑪】

アレルギー食が50食まで対応できるということでしたら、ソバ、落花生の2品を加えることで、除去食の利用が増え、安心して給食を食べる子どもが増えるかと思っています。

運用開始年の前年度の9月頃に通知していただけると、新1年生の対応ができるかと思っています。

【意見⑫】

現在まで事故なくアレルギー除去食を提供できていることは、いろいろなことがうまく機能しているのだと思います。

新しい給食センターとなり、アレルギー対応食を12名の児童生徒、保護者に喜んでもらえてよかったと思います。

新しく除去品目を増やすことについては、保護者からの希望があるのかということ、作業負担が増えることにより、現在行っている卵・乳の除去食に影響がないのか心配です。

慎重に検討していただきたいです。

【意見⑬】

食物アレルギー対応食は非常にありがたいです。

ソバと落花生も賛成です。

除去食を提供されている12名の子どもたちの周囲の反応はいかがでしょう。

わが子も最初は弁当を持参することに、少し友達目を気にすることがありました。

幸いとても良い子どもたちに恵まれ、一度もトラブルなく楽しい給食の時間を過ごしていますが、皆と同じものを、あたり前のように食べることができない子どもたちへの理解と配慮を、様々な人や場面でいろいろな角度から伝え、食育のひとつにしてもらえたらと思います。

また、担任の先生の対応も様々で、細やかな先生もいれば、「本人がしっかりしているのでわかりますよね」と本人任せの先生もいたり、「気を付けたいがどうしたらよいか」と戸惑う先生にも会いました。

ぜひ、教員向け研修の中に、アレルギーの理解と対応について、定期的にお伝えいただけると助かります。

【意見⑭】

対応が比較的容易なものであれば、除去食に加えてよいのかと考えます。

(コスト面でも問題ないのであれば)

3 その他

○給食のおいしさ等アンケート結果の推移について

【質問】

アンケート結果のIV食器はいかがですか(2020年12月実施分)の問いで、93%以上が高評価ですが、残りの良くない理由が知りたいです。

【回答】

アンケートの質問内容として、「とてもよい」「まあよい」「あまりよくない」「よくない」の4つの選択方式のため、どういう理由かについては不明です。

○食に関するアンケートについて

【意見】

苦手な食べ物アンケートで、家庭でも好きになるような努力はあると思うが、食べないからとあきらめて食卓に出さない家庭もあると思います。

学校給食によって、食べることができるようになり、また、家庭でバランスよく食事が提供されない環境の子どもにいろいろな食を提供していただきたい。

【回答】

子どもたちにとって、食べ物について毎年アンケートをとっており、きのこ類、魚介類、野菜類等が多いことが分かっていますが、学校給食は食育の観点から苦手な食べ物を含めた様々な食品を食べる経験を増やす場と考えています。

また、成長期に必要な栄養の確保や望ましい食習慣を身に付けられるよう、これからも毎日の給食でいろいろな食を提供していきます。